

長谷川化学工業株式会社

木を芯材に用いた樹脂製の 調理用品で独壇場、海外にも名を轟かす

—売り上げ50%増へ設備投資に着手、海外でのHASEGAWAブランド定着を目指す



- ・他社がマネできない異種素材の積層接着技術で自社ブランドを確立
- ・製品の安全・安心を追求、石油に頼らないバイオマス原料も採用

長谷川化学工業株式会社は、知る人ぞ知る有名な会社だ。学校給食の調理場では、同社のまな板やヘラが圧倒的なシェアを占める。海外でブームとなっている和食店ではHASEGAWAブランドのまな板や巻きすに対する引き合いが多く、需要に追いつかない。2023年春に発売した黒いまな板は、フランス料理の世界的な大会である「ボキューズ・ドール国際料理コンクール」でデンマークのブライアン・マーク・ハンセン氏が使って優勝し、一躍脚光を浴びた。その秘密は、真ん中の木材を樹脂のシートで積層するという積層接着技術にある。これにより、軽くなり、加熱殺菌による変形が抑えられる。抗菌仕様だけでなく食品別色分けタイプやソフトタイプ、表面を剥がせるタイプなどバリエーションも豊富だ。食器洗浄機も使える。この技術は「他社がマネできない独自技術」(長谷川壽一社長)となっている。

集団食中毒への対応、和食の 世界文化遺産登録で脚光を集める

長谷川化学工業は2025年に設立70周年を迎える。2010年に就任した長谷川壽一社長は2代目に当たる。もともとはプラスチックシートから始め、スキー用の滑走面や土木用の防水シート、剣道のカーボンシナイなどに手を広げた。転機となったのは1996年に学校給食で大腸菌O157による集団食中毒が発生した時だ。積層まな板は1989年に開発していたが、鳴かず飛ばずだった。食中毒を受けて当時の厚生省は「まな板の熱殺菌」を指導したが、多くのまな板は90℃の熱をかけると、反ってしまう。そこで、軽くて反らない積層まな板が学校給食の調理場で採用された。

次の転機は、2013年にユネスコが和食を世界無形文化遺産に登録

した時だ。日本の和包丁が売れるようになり、「軽くないけど反らない良いまな板が海外から求められるようになった」(長谷川社長)。

長谷川化学工業の24年3月期売り上げ構成は概ね調理用品が7割、防水シートが3割を占める。このうち調理用品は国内7:海外3の比率で、とくに海外向けの供給が追い付かない。「追いつけば5:5くらいになる」(長谷川社長)だけに、生産能力増強が課題となっている。調理用品の製品別比率は、まな板が半分以上を占めてトップ。次に多いのが樹脂製ヘラのスパテラ・ターナーで25%程度。木製スパテラの問題だった削れ・木くずによる異物混入、水を吸うことによる雑菌の繁殖、黒カビの発生がなく、支持を集めている。海外で圧倒的に売れているのは巻きす。樹脂製なので洗浄性が高く、管理しやすい点が人気の秘訣だ。



木芯入り抗菌まな板「かるがる」



樹脂製しゃもじ&ヘラ「ハイテクスパテラ」



海外で大ヒット中、ハセガワの巻きす



みんなで協力し合う作業風景

月平均残業時間は5時間、 1時間単位の時間有休休暇も好評

とくに海外での需要増に対応して、長谷川化学工業は設備投資に乗り出している。千葉県八千代市の本社工場では「約2億円をかけて、まな板の表面材用のシート押し出し機を増設するとともに、材料製造工程を増強する」(長谷川社長)。さらに、組み立てて製品にしている千葉県東金市の東金工場では「26年完成予定で建屋を増設する。第1期工

事で投資額は3億~3億5000万円。その後、現工場の建替えも控える(長谷川社長)という。これにより「売り上げを10年で約50%は伸ばしたい」(長谷川社長)と意気込む。HASEGAWAブランドを世界に浸透させるため、在庫庫の海外拠点を新設し、機会損失をなくす計画もある。

こうした設備増強、売り上げ拡大を支えるのは人材だ。長谷川化学工業は22~24年の3年間に10%を超える給与のベースアップを行って

おり、「25年、26年も上げる」(長谷川社長)という。年間休日は108日から116日に増やしており、26年には120日にする予定だ。育児休業制度は1年間+オプション1年間と大企業並みで、それに加え1時間単位で中抜けも可能な時間有休休暇制度を設けている。介護や子育て、通院の際に好評を得ている。長谷川化学工業の月平均残業は5時間と少なく、離職率も低い。長谷川社長は「経営者仲間から超ホワイト企業と言われる」と笑う。



代表取締役社長
長谷川 壽一氏



仕事を楽しみ、主体的に行動する社員を手助けする

長谷川化学工業はユニークな製品をつくり、世界展開しています。料理が好き、開発が好き、海外の仕事がしたいと思う人は、ぜひ仲間に加わってください。「都心で働きたい、きれいなオフィスで働きたい」といった「器」で会社を選ぶのではなく、「仕事が面白そう」という「中身」で選んでいただき、自分の仕事を楽しんでほしいと願っています。仕事を楽しめば、義務ではなく、自ら考え、行動し、成果を上げるようになります。周りからも信頼されなくてはなりませんが、それには自らが成長

していかないなりません。会社はそれを手助けします。中途入社も同様に歓迎します。

我々のミッションは「独自の技術」「安心・安全の追求」「自社ブランドへのこだわり」です。積層接着技術は、長年の実績によって絶対に剥がれないという信頼を培ってきました。また、お客様の困りごとを解決するには、独自に意思決定できる自社ブランドが重要になります。安心・安全の追求に終わりはありません。活躍の場はますます広がっています。

会社 DATA	所 在 地	地
	所	在
	在	地
	拠	点
	設	本社および東金工場
	立	1955年6月11日
代 表 者	代 表 者	長谷川 壽一
売 上 高	売 上 高	14億円(2024年3月期)
従 業 員 数	従 業 員 数	99人(2024年8月31日現在)
事 業 内 容	事 業 内 容	業務/家庭用調理用品、土木/建築用防水シート、スポーツ用品の製造・販売
U R L	U R L	https://hasegawakagaku.co.jp/

